

授業科目名 科目コード	商法 (Commercial law) 2013-0-13-034					担当教員	井上 芳 (イノウエ カオル)		
科目区分	教養他目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	■知識定着・確認型 AL(振返りを講義時に実施) ■協同学修型 AL(演習時グループ・ワークを実施)								

① 授業のねらい・概要									
■授業の目的(ねらい)： (i) 商法は、会社・株式・会社機関・手形小切手などを対象に、膨大で専門性が高い法律である。 (ii) 本講は、商法で試験科目とされる会社法について、就職試験に対処できる基礎知識の習得を目的としている。 ■概要： (i) 就職試験における会社法科目は基本条文レベルであり、まず頻出条文の知識を習得させる。 (ii) その後、最近の大幅な改正などの動きにも対応できるように指導する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
■地域社会に貢献する姿勢/職業人として通用する能力 (職業遂行における地域社会との関わりに鑑み、そのための法律上の基礎知識を付与する。)									
③ 授業の進め方・指示事項									
■授業の進め方： (i) 就職試験に必要な項目のみに絞ったテキストの解説を実施する。 (ii) 各節の演習問題の解説を実施する。 ■指示事項： (i) 各節の演習問題の自宅復習に努める。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
なし									
⑤ テキスト(教科書)									
(i) 公務員試験 過去問攻略Vテキスト7「商法」									
⑥ 参考図書・指定図書									
なし									
⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) テキスト記載の会社法の用語等を理解し、説明できる。 (ii) 各節の演習問題を自力で回答できるようになる。									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) テキスト記載の会社法関係用語理解、商法の全体像の説明	会社法の全体像や会社法用語に関してテキスト等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示せる	会社法の全体像や会社法用語に関してテキスト等に頼らず説明できる	会社法の全体像や会社法用語に関してテキスト等を見ながら説明できる	会社法の全体像や会社法用語に関してテキスト等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	会社法の全体像や会社法用語に関して資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) テキスト記載の過去問の回答	テキスト記載の過去問の回答を資料等に頼らず他者に説明でき、授業内容を越えた学修成果を示せる	テキスト記載の過去問の回答について資料等に頼らず説明できる	テキスト記載の過去問の回答について資料等を見ながら説明できる	テキスト記載の過去問の回答について資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	テキスト記載の過去問の回答について資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i) 法律用語の理解力	20%		10%			10%		40%
(ii) 演習問題の回答力	30%		10%			20%		60%
フィードバックの方法	各節終了後、自宅での復習課題を課し、次回講義で模範解答を示す。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<p>■ 公務員試験受験だけでなく、社会人としての会社法の知識理解の為の受講としてお勧めします。</p> <p>■ 職業生活をおくる上で必須な知識で、学生生活のうちに一度は学んでいただきたいと思います。</p>

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間(分) (※特別な持参物)	
1	ガイダンス・会社法1 (全体像、商号、使用人等)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
2	会社法2 (商業登記、会社意義・設立)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
3	会社法3 (株式会社設立)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
4	会社法4 (株主総会)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
5	会社法5 (取締役・取締役会等)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
6	会社法6 (監査役・会計参与)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
7	会社法7 (委員会設置会社)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
8	会社法8 (取締役・監査役の義務等)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
9	会社法9 (株式会社の計算等)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
10	会社法10 (組織変更・組織再編)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
11	手形・小切手法1 (手形小切手意義・性質等)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
12	手形・小切手法2 (手形小切手の振出・裏書等)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
13	演習1 (会社法)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
14	演習2 (手形小切手法)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分
15	演習3と総まとめ (全範囲)	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	120分

⑫ アクティブラーニングについて
<ul style="list-style-type: none"> ■協同学修型ALを採用する。 ■各内容について講義と問題演習を行う。 ■学生自ら及び学生チームで演習問題を解かせ、条文等の理解力を高めさせていく。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
<ul style="list-style-type: none"> ■金融機関では、支店営業での営業推進/審査部で融資先審査・企業再生/市場営業部で市場性商品相談/事務統括部で市場性商品運用/国際業務部で取引先国際化支援・営業店指導/外為 Web 取引及び各国取引等相談、等の役職経験がある。 ■システム開発会社では、システム設計/システム開発/システム運用、等の役職経験がある。 ■手形交換所では、地域金融機関の業務支援/信用情報管理/法人運営管理などの管理経験がある。 ■経営コンサルタントとして、にいがた産業創造機構の事業承継コーディネーター/海外展開支援専門家/地域中小企業各社の経営指導/M&Aアドバイザーなどの経験がある。
実務経験と授業科目との関連性
<ul style="list-style-type: none"> ■金融機関での、顧客資金管理における会社法をベースとした法的相談対応経験は、本講義との関連が高い内容である。また顧客審査における企業経営の確認において、会社法を踏まえた判断を実施しており、その経験が本講義実施に生かされる。 ■経営コンサルタント業務では、経営指導対応や事業承継対応・M&A アドバイスで会社法を意識した対応が不可欠で、本授業科目との関連が極めて高い業務を実施している。その経験も講義実施に生かせることになる。